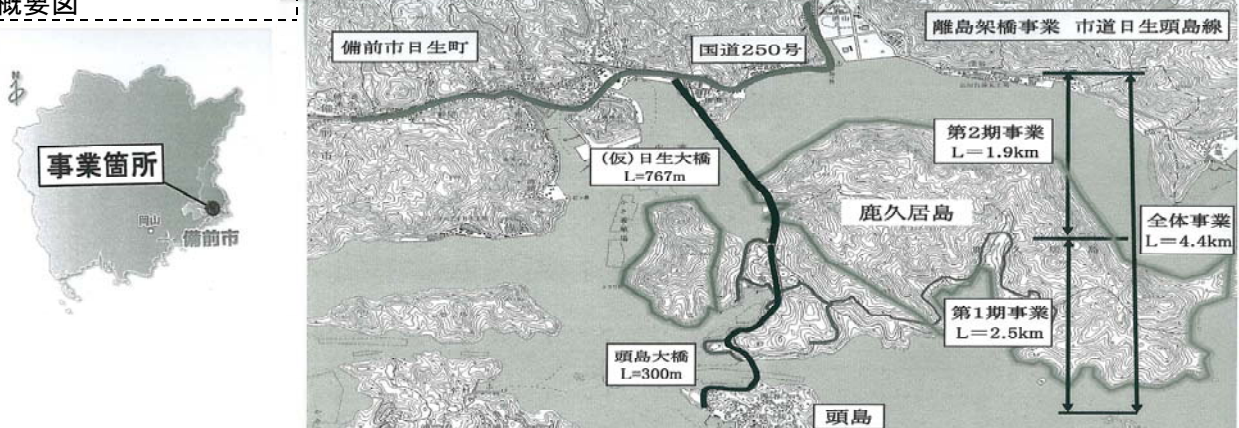


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局地域道路課
担当課長名：内海 一幸

事業名	市道 <small>ひなせかしらじま</small> 日生頭島線 離島架橋事業	事業区分	地方道	事業主体	岡山県備前市
起終点	自：岡山県備前市日生町寒河梅灘 至：岡山県備前市日生町日生頭島			延長	4.4 km
事業概要					
市道 日生頭島線は、本土側国道250号を起点とし、鹿久居島を経由して頭島を結ぶ延長4.4kmの路線である。本事業は、本土側の日生港と定期船で結ばれている離島（鹿久居島、頭島）を連絡する架橋計画を含む幹線市道の整備である。					
H11年度事業化	H 年度都市計画決定	H11年度用地着手	H11年度工事着手		
全体事業費	130億円	事業進捗率	45%	供用済延長	2.5 km
計画交通量	1,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.4 (残事業) 7.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 62/137億円 (事業費: 61/137億円 維持管理費: 0.41/0.46億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 462/464億円 (走行時間短縮便益: 302/304億円 走行経費減少便益: 160/160億円 交通事故減少便益: 0.00/0.00億円)	基準年 平成20年	
感度分析の結果	残事業について、感度分析を実施 交通量変動(±10%) B/C=6.5~8.5 事業費変動(±10%) B/C=6.8~8.3、 事業期間変動(±20%) B/C=7.2~7.8				
事業の効果等	交通常時性確保による医療、通勤、通学の利便性の向上などの離島地域の隔絶性の解消、観光客の利便性の向上により地域振興が見込まれる。				
関係する地方公共団体等の意見	頭島架橋促進期成会、日生町観光協会など複数の団体から要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	頭島大橋を含む鹿久居島～頭島間が供用開始（平成16年11月22日）した現在においても、離島である状況の隔絶性は残っている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	頭島大橋L=300mを含む2,500mが供用開始している。今後、道路工事に加え日生大橋（仮称）L=767mの橋梁工事に着手する。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	本事業は2つの海を渡る長大橋（離島架橋）を含んでおり、調査、設計、施工に高度な技術を必要とすることから、当初から長期にわたる計画としており、平成26年度の全線供用を目標としている。				
施設の構造や工法の変更等	新工法の採用や建設副産物の再利用等により、今後もコスト縮減に努めることとしている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。